

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	社会福祉施設管理運営事業		コード	担当課	吉永市民福祉課 福祉係
			02-01-03-06	担当者	吉田 修
事業実施期間	昭和62年度～平成18年度		電話	(0869)84-2518	
総合計画 事業(政策)体系	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり			
	中項目	やさしさあふれるまちづくり			
	小項目	障害者(児)福祉			
	施策	交流の推進と組織づくり			

事業について	
目的	吉永社会福祉センターの管理運営を円滑にするため。
対象(誰のために)	吉永社会福祉センター・吉永地域公民館の利用者
内容	吉永社会福祉センター建設費について、借入償還を助成している。同センターは、吉永地域の社会福祉行事、会議等の開催場所として活用しており、管理運営については、(福)社会福祉協議会に委託している。

事業の結果	17年度			18年度		
実施項目	回数など	(単位)	回数など	(単位)	回数など	(単位)
センター延べ利用者数	9,370	人				
吉永地域住民	5,332	人				

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	5,012	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	505	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	5,517	市債		合計	0	市債	

必要人員	0.05	人		人	
------	------	---	--	---	--

結果指標①	結果指標名	センター延べ利用者数			
	結果指標量	9,370			
	単位	人			
	対前年比	-			

結果指標②	事業費	5,517,000	円		円
	単位当たりコスト①	589	円		円

事業の成果			
-------	--	--	--

成果指標名	地域住民平均利用回数	式又は説明	センター延べ利用者数/吉永地域住民
成果指標量	17年度 1.76回		
到達目標値	現状の維持	到達目標年度	毎年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	社会福祉増進を図ると共に、地域の活性化を目的としている事業である。
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
効率性の評価	コストの効率化	社会福祉センター建設費の借入償還金の助成であり、平成18年度で完済となる。(旧吉永町が償負担行為をしている。)
	手段の最適化	
	職場の効率化	
有効性の評価	目的達成度	市民参画度
	成果向上の可能性	
	市民参画度	

総合評価	コメント	評価区分
	平成18年度で建設費借入償還金は完済となるため、来年度で完了する。	<A~E> C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度結果指標量①	9,370人	結果指標量②	
目標値	1.76回		

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である結果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。